

## 第1 調査結果の特徴等

**1 令和3年7月以降の一年間の県の地価は、住宅地、商業地とも2年連続で上昇し、それぞれ上昇幅は拡大した。**

- (1) 平均変動率をみると、住宅地は1.5%（昨年0.2%）の上昇、商業地は2.3%（昨年1.0%）の上昇となり、それぞれ上昇幅は拡大した。
- (2) 上昇、横ばい、下落地点数の割合をみると、住宅地では上昇地点数が68.3%（昨年34.2%）を占め、横ばい地点数が15.2%（昨年35.8%）、下落地点数が16.5%（昨年30.0%）となった。
- また、商業地では上昇地点数が75.7%（昨年33.7%）を占め、横ばい地点数が11.8%（昨年37.5%）、下落地点数が12.5%（昨年28.8%）となった。

**2 住宅地では、名古屋市、尾張地域、知多地域及び西三河地域で上昇し、東三河地域で下落となった。商業地では、名古屋市、尾張地域、西三河地域及び東三河地域で上昇し、知多地域で下落となった。**

- (1) 地域別の平均変動率をみると、住宅地では名古屋市で3.1%（昨年1.3%）、尾張地域で1.0%（昨年0.0%）、知多地域で1.0%（昨年△0.5%）、西三河地域で2.0%（昨年0.5%）、東三河地域で△0.1%（昨年△0.7%）と名古屋市、尾張地域、知多地域及び西三河地域で上昇を、東三河地域で下落を示した。
- また、商業地でも名古屋市で4.4%（昨年3.2%）、尾張地域で0.7%（昨年△0.4%）、知多地域で△0.3%（昨年△1.2%）、西三河地域で2.3%（昨年0.0%）、東三河地域で0.5%（昨年△0.3%）と名古屋市、尾張地域、西三河地域及び東三河地域で上昇を、知多地域で下落を示した。
- (2) 市町村別の平均変動率をみると、住宅地では東海市、刈谷市など36市町（昨年20市町）で上昇を示し、商業地では安城市、名古屋市など34市町村（昨年8市）で上昇を示した。
- 一方、住宅地において、南知多町、美浜町など17市町村（昨年30市町村）が下落を示し、商業地でも南知多町、美浜町など15市町（昨年31市町）が下落を示した。
- (3) 名古屋市各区分の平均変動率をみると、住宅地及び商業地において、全ての区で上昇を示した。

**3 最も大きい上昇率を示した地点は、住宅地では「中（県）-1（錦1丁目）」（16.7%）、商業地では「中村（県）5-3（名駅南3丁目）」（12.3%）であった。**

**一方、最も大きい下落率を示した地点は、住宅地では「南知多（県）-2（豊浜）」（△5.4%）、商業地では「南知多（県）5-1（豊浜）」（△5.3%）であった。**

- (1) 住宅地では変動率上位5地点は名古屋市及び東海市の地点が占めた。
- また、商業地では変動率上位5地点は名古屋市の地点が占め、そのうち、2地点を中村区と東区の地点が、1地点を中区の地点が占めた。
- (2) 住宅地では変動率下位5地点は南知多町、美浜町及び蒲郡市の地点が占めた。
- また、商業地の変動率下位5地点は南知多町、美浜町及び新城市の地点が占めた。